

教育学部 教員採用試験結果報告 就職内定状況報告

●学生選書紹介

教育学部 教員採用試験合格者インタビュー

ひとくちメモ

2021年2月1日現在

- 開 学:平成9年(1997年)4月
- 開 設:(社会福祉学研究科修士課程)平成21年(2009年)4月
(看護学研究科博士前期課程)平成24年(2012年)4月
(看護学研究科博士後期課程)平成29年(2017年)4月
(教育学研究科修士課程)平成30年(2018年)4月
(発達教育学部)平成26年(2014年)4月
(教育学部)平成30年(2018年)4月(発達教育学部を名称変更)
(保健教育学科)平成30年(2018年)4月
- 学部・学科:社会福祉学部・社会福祉学科
教育学部・児童教育学科
教育学部・保健教育学科
看護学部・看護学科
- 大学院:社会福祉学研究科修士課程
教育学研究科修士課程
看護学研究科博士前期課程
看護学研究科博士後期課程
- 学 長:加藤 明
- 教員数:専任(助手を含む)
社会福祉学部 19名
教育学部 27名
看護学部 31名
社会福祉学研究科(8名)
教育学研究科(11名)
看護学研究科(18名)
- 職員数:58名(派遣職員含む)
- 学生数:社会福祉学部 411名
教育学部児童教育学科 302名
教育学部保健教育学科 246名
看護学部 390名
社会福祉学研究科修士課程 4名
看護学研究科博士前期課程 8名
看護学研究科博士後期課程 3名
教育学研究科修士課程 10名
- 教員一人あたりの学生数:社会福祉学部 22名 教育学部 20名 看護学部 12名
- 卒業生数(学部):累計5,297名
- 卒業生数(大学院):累計54名
- 社会福祉士合格者数:累計1,610名(※累計人数は全て既卒者込み)
- 精神保健福祉士合格者数:累計306名
- 看護師合格者数:累計918名
- 保健師合格者数:累計457名
- 助産師合格者数:累計 9名

編集後記

2021年になっても新型コロナウイルスの感染拡大は社会に甚大な影響を及ぼしています。亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、残されたご遺族の方にお悔やみ申し上げます。また、感染された方の一日も早い回復を心よりお祈り申し上げます。ひっ迫する医療現場で、日々奮闘されている医療従事者・関係者の皆様に心より敬意を表し、感謝申し上げます。

昨年はまさに新型コロナウイルスによってさまざまなことが大きく変わった年でした。これまで「当たり前」となっていたことがありがたみを感じることも多かったのではないのでしょうか。大学でも対面での講義、課外活動や大学祭、入学式・卒業式など、これまで当たり前だった行事や日常がどれほど貴重な機会であったかを痛感しています。

一日も早いコロナ禍の終息を願いつつ、現状の中でも質の高い教育サービスを提供するため、教職員一同、全力で取り組んで参りますので、今後とも本学の教育研究活動及び本会の活動にご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2020年度 第2回 学生選書紹介

図書館では、図書館に置いてほしい本を学生が選ぶ「学生選書」を、今年度も実施しました。今年2回目となる後期学生選書では、各学科2名 計8名の方が、専門書や小説・料理本等さまざまなジャンルの本を選んでくれました。話題となったベストセラーや人気作家のシリーズものなど図書館展示スペースに設置しています。推薦者が作成してくれたPOPを読んでいただくのも楽しいですよ。



contents

教育学部 教員採用試験結果報告	01
教員採用試験合格者インタビュー	02
就職内定状況報告	05
学生選書紹介	07
ひとくちメモ	07
編集後記	07

教育学部児童教育学科

教員採用試験結果報告

2020年度に実施された公立小学校教員採用試験について、4期生（現4年次生）は1次試験合格者83名、最終合格者49名となり、現役合格者数が過去3年間を上回る結果となりました。

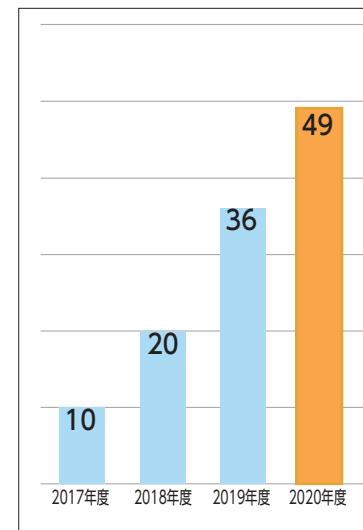
本学では、東京アカデミー等の学外講師による各種講座を学内で受講できるだけでなく、学内教員が毎朝8時から行う朝学、勉強会「志塾（こころざしじゅく）」での各種対策講座、ゼミ教員が行う人物試験や模擬授業対策等の勉強会、独自の模擬試験、学習ステーションの各講座など充実したプログラムを展開しています。

また、卒業後に教員となる4年次生を対象に、加藤学長が学級経営や授業の仕方のノウハウを指導する特別講義を行うなど「先生」をめざす学生の志を叶えるためのサポートに取り組んでいます。

自治体別合格者数

自治体名	合格者数
神戸市	1
和歌山県	1
岡山県	4
鳥取県	7
広島県・市	12
愛媛県	2
高知県	3
福岡県	8
北九州市	2
長崎県	2
静岡県	1
神奈川県	3
宮城県	2
北海道	1

年度別合格者数推移



教員採用試験合格者インタビュー



松本 和也 さん

（香川県 観音寺中央高校（現：観音寺総合高校）出身）広島県合格

感謝

教員採用試験対策で頼りになったのは、アカデミックアドバイザーの新川先生です。僕は3年生の時点で教員採用試験の現役合格をあきらめていました。勉強が嫌いでゼミの勉強会にもあまり顔を出していませんでした。でも「自分じゃない誰かのために頑張ればいい」という新川先生の一言のおかげで、教採の現役合格に向けてのモチベーションを取り戻し、これまで育ててくれた両親や支えてくれた仲間たちに感謝しながら、必死に勉強し、合格することができました。支えてくれた人すべてに本当に感謝しています。



竹原 有希 さん

（兵庫県 赤穂高校出身）神戸市合格

努力なくして勝利なし

私は入学時から小学校教諭を目指し、ボランティアや模擬授業などに積極的に参加していました。また、朝学にも参加したことで、私の教養が鍛えられ、1日の学習習慣にも繋がったと感じています。教員採用試験に向けて同じ志をもつ仲間と一緒に勉強したり、息抜きをしたりしながら1年半を過ごしました。勉強の成果が出ず、苦しんだ時期もありますが、仲間や先生の支えもありここまで努力することができました。教師になってからも児童が仲間の大切さや、協力することの良さを実感できるような学級運営を目指したいです。



瑞慶覧 玲華 さん

（兵庫県 三木北高校出身）岡山県合格

未来を信じて

教員採用試験は今までの人生の中で一番頑張った時間でした。試験に向けて本気になったのが試験まで半年を切ったときだったと思います。試験が近づくにつれて、できるところまでやってみようと思ったことで自分の頭が軽くなり、貪欲に突き進めました。時期は遅かったですが本気で向き合ってみると、先生方や友達は労を惜しまず支えてくれました。私がどのような人間なのか伝えてくれたり、これからの課題を提示してくれたり、自分を成長させたいと強く思わせてくれました。試験勉強をしている時間は途方もなく長く感じますが、歩いた分だけ自分を育ててくれます。この気持ちを忘れずに頑張ります。



石田 明里 さん

（愛知県 犬山高校出身）福岡県合格

常に感謝の気持ちを持つこと

私は勉強が苦手で毎日勉強することをとてもしんどく思っていました。しかし、ゼミの仲間や友人と一緒に頑張ることで、何とか続けることができました。特に、ゼミ生とは、毎日学校に来て勉強に励みました。教員採用試験の情報を交換したり、相談し合ったりすることが、私の支えになっていました。本当に感謝しています。また、教員採用試験の情報共有や面接指導、勉強する場所や機会を与えてくださった先生方にも感謝しています。これからは、一人一人に向き合い、子どもの可能性を広げられる教師になれるよう努力していきたいです。



早川 巧真 さん

（長崎県 長崎北高校出身）長崎県合格

初志貫徹

私は、小学校教諭になりたいという思いでこの大学に来ましたが、教育実習を経験し、その思いがさらに強くなりました。実際の児童と関わることで、大変なこともありましたがそれ以上に楽しさを感じることができました。教育実習後から教員採用試験の勉強をはじめましたが、勉強が得意でなかった私にとってはとても辛かったです。新川先生には、毎日夜遅くまでご指導いただき感謝しています。今までたくさんの人に支えられた分、これからは教師として子どもたちを支えていきます。



岡田 啓杜 さん

（兵庫県 上郡高校出身）広島県合格

「やり続けること」と「やり切ること」

大学生生活の中で、多くの先生や友人との出会いが採用試験においてもプラスになったと思います。特に、「自分を見る」ということを心掛けてきました。自分の模擬授業や面接練習の動画を見直し、修正点を探しました。始めは少し抵抗がありましたが、「周りに見えている自分」を見つめ直すことで、良くなる方法を広い視野で考えることができました。採用試験を終えてから、多くの人に「変わったね」と言ってもらえました。これから教員として子どもたちに「成長したね」と言えるように、自分自身も成長し、子どもたちに力をつけられる先生になりたいです。



井上 響生 さん
(兵庫県 東洋大学附属姫路高校出身) 広島県合格

挑戦しやり遂げる

教員採用試験に向けてご指導いただいた、小川先生をはじめ、友達、ボランティアを受け入れてくださった小学校など、多くの人に支えられたと感じています。3年生の冬から本格的に教員採用試験の対策に打ち込み、友達と勉強し、模擬授業を見せ合うことで試験を乗り越えることができました。また、学校生活では、多くのボランティア活動や課外活動に参加し、子どもたちと触れ合ったことなど、多くの経験を得ることができました。これも自分自身の成長につながっています。今後も様々なことに挑戦し学び成長し続けたいと思います。



空井 樹生 さん
(大阪府 金光大阪高校出身) 福岡県合格

全てが学び

採用試験を通して多くのことを学びました。試験には、今までに勉強したことだけでなく、予想していなかった問題や面接での質問ももっと準備しておけばと思ったこともあります。しかし、試験を通して知らなかったことや考え方を知り、試験の合格だけでなく、人としても成長することができた期間になったと思います。試験勉強から実際の試験まですべてが学びにつながっていると思います。いくつもの自治体を受けることで学びも多くありました。様々なことから学びを得られる大切な経験になりました。



武井 菜月 さん
(高知県 高知商業高校出身) 広島県合格

意志あるところに道は開ける

教員採用試験はただ勉強ができればいい…という試験ではないと思います。“人”を見られることが一番の肝となるような気がします。友達や先生との関わりの中で、自分の日常の振る舞い、言葉づかい、そして教員への夢の具現化、これらを深く、自分なりの形にしていけることが一番大変で一番重要なことだと感じました。何度も悔しい思いををし、逃げてしまったこともあります。くじけることもありますが、嫌でも前を向いていけば違う景色が見えてくるので、自分から逃げずにいることが大切だと採用試験を通して思いました。



門田 悠汰 さん
(兵庫県 加古川西高校出身) 鳥取県合格

人との関わりを大切に

大学で習ってきたことを習慣的に復習したり、先輩から話を聞いたりして、筆記試験への対策を早い段階から進めることができていました。しかし、コロナ禍のため自治体による説明会の取りやめや、大学での対策講座がなくなり、面接など二次試験に対する不安が大きくなりました。そのため、ZOOMや電話などを使って友達との情報交換を積極的にしたり、モチベーションの維持や自己理解に励みました。その結果が合格に結び付いたと思うので、友達や周囲の人との関わりは大切にすべきだと強く思います。



宮本 光悠 さん
(兵庫県 東洋大学附属姫路高校出身) 高知県合格

自分を強くする

教員採用試験の勉強は今までで1番集中して勉強したと思う期間でした。どれだけ勉強しても満足できず、不安に駆られる日々。それでも、皆で教えあって、支えあって最後まで頑張れました。私は一人で勉強する時間と誰かと一緒に勉強する時間の両方を作ること、自分に合った勉強方法を見つけることができ、試験の壁を乗り越えることができました。また、試験は自分との戦いなので、自分の弱さに負けないように強い自分を育てることが大切だと思えました。



笠原 明日歌 さん
(香川県 高瀬高校出身) 広島県合格

周りの人を大切に

素敵な縁に恵まれて、いろいろな人たくさん支えてもらい今年の春から「やってみたい!」と初めて思った小学校の先生になるスタートラインに立つことができました。ゼミの新川先生に出会えたことで、苦しい時も諦めそうな時も、自分もできるという自信をもち、最後まで頑張ることができました。私もこれから関わる子どもたちに「この先生に出会えてよかった」と思ってもらえるような、そして私自身も「この子たちに出会えてよかった」と思える素敵な先生になりたいです。



播本 太平 さん
(大阪府 初芝立命館高校出身) 広島県合格

乾坤一擲

今年の教員採用試験は、新型コロナウイルスの影響で直前に試験日程・内容の変更があったり、会場別、時間帯別の分散受験になったりと、昨年までの試験内容を基に対策がしづらなことが多かった中で、変更等の情報をいち早く共有してくれた先生方や仲間感謝しています。試験については、大学でも個人面接指導してもらいました。思ったことや、考えていることを素直に話したことで、自然な応答ができました。試験対策として丁寧な指導をしていただいた先生方に感謝しています。



安本 成美 さん
(鳥取県 八頭高校出身) 鳥取県合格

努力を惜しまない

教員採用試験に向けて、まず自分自身に合った学習習慣を身につけました。毎朝8時には学校に行き、机に向かうように努力しました。そして、互いに競い合ったり相談できたりする仲間を作り、日々高めあうことができました。1年生から始まる学習ステーションや志の会、朝学、模擬試験等、目の前にあるものに一生懸命取り組んでいくことが合格のカギだと思います。これから、子どもたちの笑顔あふれる学級運営を目指します。



野村 沙里奈 さん
(兵庫県 姫路飾西高校出身) 広島県合格

芯は強く

私は小学校の先生になることが夢でした。そして、今年、教員採用試験に合格し、今年の春から先生として働くことができます。これは、共に頑張った友達や先生のおかげです。今年は、新型コロナウイルスの影響で大学に来ることができずに教員採用試験対策に不安がありました。しかし、自分の学習ペースを保ちながら、時には友達と励まし合いながら勉強することができました。先生方は資料や参考書の郵送、オンラインでの指導で私たちを支えてくださいました。これからは、社会人としての責任をもち、大学で学んだことを活かして理想の先生になれるよう頑張ります。



松岡 優 さん
(岡山県 岡山学芸館高校出身) 福岡県合格

最後まで全力で!

僕が教員になりたいと思い、本気で目指し始めたのは、3年生の教育実習直前でした。すでに友達の中には勉強を始めている人が多く、成績での差を感じることがありましたが、自分は自分と開き直り、焦らず着実に勉強することで最後まで頑張ることができました。小川先生から「教員採用試験のために勉強するのではなく、今勉強していることは、先生になって教壇に立った時に役立てられるようにするため」と言われたこの言葉は、試験を受ける中で、心の支えになりました。これからたくさんのことを学び、子どもとともに日々成長し続けられる先生になりたいです。



杉本 航基 さん
(兵庫県 赤穂高校出身) 神奈川県合格

積み重ねと繰り返し、最後までやり抜く

3年生の後期からは、朝早くから夜遅くまでコツコツと勉強をし、繰り返し問題を解くようにしました。また、朝学などで、朝から勉強をする習慣が身につきました。新川先生をはじめ多くの先生方や先輩方に様々なアドバイスや情報をいただく合格することができました。何度も自分自身と向き合い、コツコツ勉強することで、教育に対する熱意や、教育観を見つけることができました。



山根 彩加 さん
(兵庫県 太子高校出身) 神奈川県合格

自分を信じ、縁を信じて最後まで諦めない

人一倍要領が悪くて、人一倍飽き性な私がここまで頑張ってきたのは、ゼミの先生・先輩・仲間・両親、様々な方々に応援して、支えてもらったからこそだと思います。そして、大学生活をはじめとしたこれまでの体験や経験が私を強くしてくれたと思います。これからは、子どもたちがこのクラスでよかったと思う学級運営や、授業が行える先生になりたいです。



2021年3月卒業予定者の就職内定率は3学科合計で95.5%となりました(2021年1月末現在)。本学では昨年度より就職支援体制を強化し、早期からの就職支援対策講座の実施や個人面談の充実などを行い、早期化する採用選考への対策を進めてきました。

コロナ禍での就職活動に不安を感じる学生も見られましたが、アカデミック・アドバイザー、キャリア開発課によるこまめな状況確認と助言により、前年よりも早いペースで多くの学生が内定を獲得しています。就職率100%の達成を目標に現在でも学生への支援を継続しています。

また、3年次生に対する就職支援を本格化させています。履歴書の書き方講座や学内合同就職説明会、個別面談の実施などのプログラムを通じ就職活動への準備を着実に進めています。また、アカデミック・アドバイザーとの綿密な情報共有を行い、一人ひとりの進路実現に向けた個別支援を徹底させています。

■就職内定状況(2021年1月29日現在)

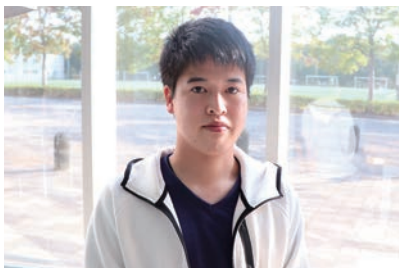
学 科	卒業 予定者数	就職 希望者数 (除:進学希望者)	就職 内定者数	就職 内定率
社会福祉学科	116	115	110	95.7%
看 護 学 科	88	84	81	96.4%
児童教育学科	70	68	64	94.1%
合 計	274	267	255	95.5%

内定者インタビュー



山崎 友紀乃 さん
社会福祉学科 4 年次生 (兵庫県 兵庫県立大学附属高校出身)
内定先: 赤穂市役所 (事務職)

地元赤穂に貢献したいという思いから赤穂市役所職員を志しました。面接試験に備えキャリア開発課で複数回練習。二次試験の個人面接では地元赤穂市の情報を調べるだけでなく、広い視野で地元の課題やその解決法を事前に準備し、自信をもって面接に挑めました。ゼミの先生は準備期間中からずっと私のことを気にかけてくださっていたので本当に感謝しています。



樽井 友宏 さん
社会福祉学科 4 年次生 (徳島県 海部高校出身)
内定先: 社会福祉法人 兵庫県社会福祉事業団

ゼミの先生からの勧めや3年次に参加した兵庫県社会福祉事業団での福祉インターンシップから同事業団は規模が大きく様々なキャリアが積めることや先進的な取組をされていること、充実した福利厚生があることを知り、第一志望として決めました。面接本番は緊張しましたが、こんな職員になっていきたいという思いを伝えることができました。どんな時でもずっと気にかけてくださったゼミの先生にとっても感謝しています。



大野 堇 さん
社会福祉学科 4 年次生 (兵庫県 須磨学園高校出身)
内定先: 警視庁 (警察官)

幼い頃からのあこがれだった警察官。採用試験に合格することは簡単ではないと思い、勉強をする習慣づくりを意識。所属ゼミの研究室はみんなが資格取得や採用試験に向けて毎日勉強をしていることもあり、自然と勉強を頑張る環境にいたることができたことは大きかったです。キャリア開発課で納得がいくまで面接練習を行っていただきました。女性が安心して暮らせる社会を作れるように、責任感のある警察官になりたいですね。



魚住 芽生 さん
看護学科 4 年次生 (兵庫県 飾磨高校出身)
内定先: 金光大阪中学校・高等学校 (養護教諭)

本格的に教員採用試験への対策を始めたのが3年次生の9月頃。長期の実習期間中でしたが、平日は実習、休日は同じ養護教諭を目指す友人と予備校へ通い、教職教養を主に対策しました。内定先は友人から「明るく、雰囲気の良い学校」と聞いていたので、念願の養護教諭になれるいいチャンスだと思い出願しました。規模の大きい学校ですが、どんな生徒にも寄り添える養護教諭になりたいですね。



辻 桃佳 さん
看護学科 4 年次生 (兵庫県 明石北高校出身)
内定先: 名古屋市立東部医療センター (助産師)

高校時代からあこがれだった助産師。出産件数の多い病院を早期から検索し、合同就職説明会へも参加。なかでも名古屋市立東部医療センターは件数の多さだけでなく、両親学級など家族への支援にも力を入れておられるところに魅力を感じました。内定後、3ヵ月間の助産師領域実習に参加。お母さんそれぞれに合った支援が必要だと感じ、自分の中でのなりたい助産師像が明確になりました。



桃山 亜由紗 さん
児童教育学科 4 年次生 (岡山県 備前緑陽高校出身)
内定先: 備前市教育委員会 (幼稚園教諭・保育士)

毎日5時間以上の勉強を継続するため、昼間のアルバイトに変えたり、朝型の生活にするなど生活のリズムから変えていきました。学習面では特に数学が苦手でしたが、ゼミの先生や学科の先生に個別で指導を受け、少しずつ苦手意識をなくすることができました。面接対策ではまずゼミの先生とゆっくり話をするなかで志望動機や将来のビジョンなどを固めていくことができました。学科の先生の応援が本当にありがたかったです。



細川 江里紗 さん
看護学科 4 年次生 (兵庫県 相生高校出身)
内定先: 地方独立行政法人 神戸市民病院機構 (看護師)

3年次の夏には病院合同説明会、9月には神戸市民病院機構のインターンシップにも参加し、先輩の看護師さんとじっくりお話ができました。新型コロナウイルスの影響で採用試験が延期になり不安もありましたが、キャリア開発課の方にわからない点をメールや電話で聞いたり、添削や面接練習を何度もして頂きました。どんな些細なことでも親身に指導してくださるので、本当にありがたかったです。



竹上 和奏 さん
児童教育学科 4 年次生 (香川県 高松西高校出身)
内定先: 芦屋市教育委員会 (幼稚園教諭・保育士)

面接や実技試験の対策を重ねているうちに大学4年間で自分も気づかないうちに成長してきたことや学びがたくさんあったことに気づきました。試験内容が苦手部分であったとしても諦めずに対策することで力は身に付いています。私はボランティア活動でたくさんの仲間や子どもに関わってきましたが、それらの経験も採用試験で大きな力になりました。また、同じ目標に向かって切磋琢磨する仲間の存在が頑張りが続く勇氣になりました。